

初めて発表された世界のスマートシティランキング

◆IMDがスマートシティランキングを発表、1位はシンガポール

2019年10月、スイスのビジネススクールのIMD World Competitiveness Centreは、スマートシティランキング「IMD Smart City Index 2019」を発表した。このランキングは今回初めて発表されたもので、世界の主要102都市を対象に、都市インフラや市民へのサービス提供などに対する先端技術の活用度やその効果を数値化して評価したものである。

<世界のスマートシティランキングと評価指標例>

1位	シンガポール	65位	ホーチミン（ベトナム）
2位	チューリッヒ（スイス）	66位	ハノイ（ベトナム）
3位	オスロ（ノルウェー）
4位	ジュネーブ（スイス）	70位	クアラルンプール（マレーシア）
5位	コペンハーゲン（デンマーク）
...	...	75位	バンコク（タイ）
59位	上海（中国）
60位	北京（中国）	81位	ジャカルタ（インドネシア）
...
62位	東京（日本）	94位	マニラ（フィリピン）
63位	大阪（日本）
...	...	102位	ラゴス（ナイジェリア）

項目	指標例
健康・安全	医療機関の予約のオンライン化で診察を受けやすくなったか
モビリティ	カーシェアリングの普及で渋滞が解消したか
文化的活動	美術館などの入場券購入のオンライン化で行きやすくなったか
就業・教育の機会	求人情報のオンライン化で就職活動がしやすくなったか
行政	行政手続きのオンライン化で役人の腐敗が減少したか

（出所）IMD「IMD Smart City Index 2019」

◆アジアの都市が相対的に低評価の中、ベトナムが奮闘

1位のシンガポールを除くと、主に欧米の都市が上位を占めており、アジアの都市は相対的に評価が低くなっている。そうした中、ASEANではベトナムのホーチミン（65位）とハノイ（66位）が東京（62位）や大阪（63位）に肉薄する評価を得ている。ベトナムは18年8月、スマートシティ構想を発表し、国を挙げてスマートシティ整備を推進している。ハノイ、ホーチミン、ダナンの3都市を対象に、都市行政やインフラの整備や維持などにITを活用することで、交通渋滞や大気汚染など都市問題の解決を目指している。スマートシティの定義は曖昧でIMDの評価は一側面に過ぎないが、国を挙げて取り組んでいるベトナムのスマートシティに注目してもよいかもしれない。

【今村弘史】